



持続可能な開発目標
CEO向けガイド

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう




6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任 つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさも守ろう



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナーシップで目標を達成しよう

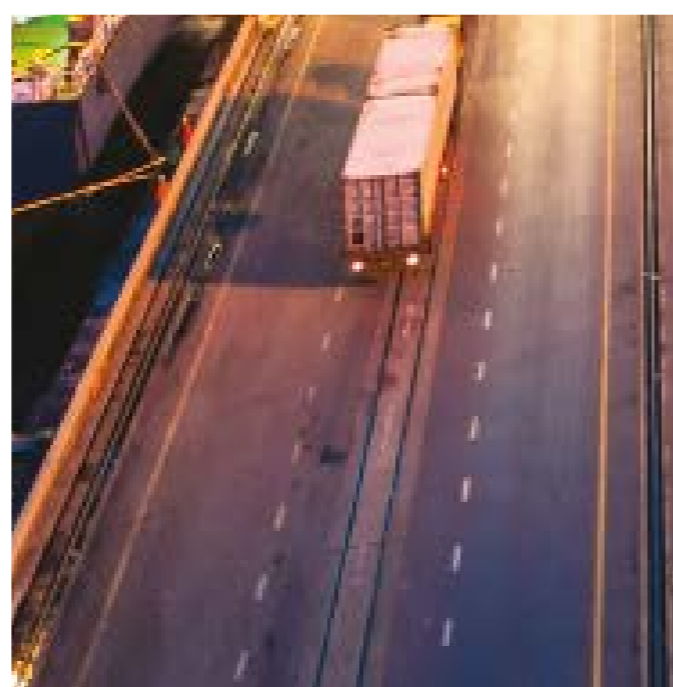


SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

目次



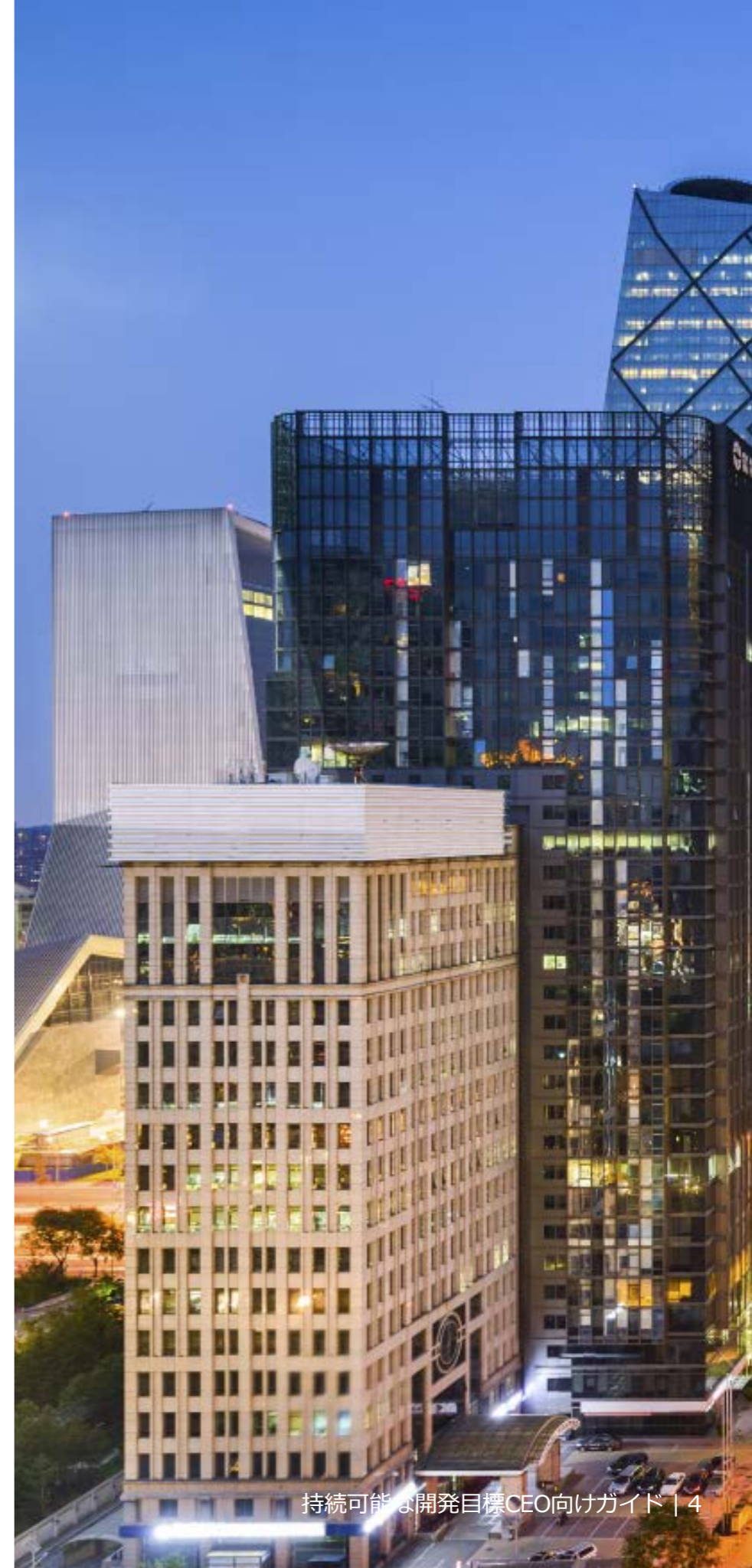
前書き

持続可能な開発目標 (SDGs) は企業を含む幅広いセクターが関与する、広範なマルチステークホルダー間の交渉の賜物といえます。SDGsでは、2030年へ向かう過程で、世界的に最も切迫している社会、経済、環境の問題に取り組むための17の目標からなる行動目標を提示しています。

先進的な企業は、経営戦略、意思決定、ガバナンスの中核に持続可能性を統合するための取り組みに長い間携わってきました。

SDGsは、グローバルなニーズをビジネスソリューションへと変換するための新しい視点を提供するものです。

これらのソリューションにより企業はリスク管理を改善し、消費者の需要を先取りし、成長市場にポジションを築き、必要なリソースへのアクセスを確保し、自らのサプライチェーンを強化できるようになり、それと同時に世界をSDGs実現に向けて前進させることができます。





今年、本書に先立って発行されたビジネスと持続可能な開発委員会（Business & Sustainable Development Commission）の主要報告書である「Better Business, Better World（より良きビジネス、より良き世界）」では、世界が必要としている長期的な安定性と成長を著しく阻んでいる現在の経済モデルの欠陥が指摘されています。

SDGsはこの傾向を逆行させるための、強制力ある新たな枠組として位置付けられています。

これらの目標は、かつてない規模で革新、経済成長、開発を引き起こす潜在的可能性を持っており、少なくとも年間12兆ドルの市場機会の価値を持ち、2030年までに3億8,000万近い雇用を新たに創出するという試算があります。

私たちはこのCEO ガイドを通じて、委員会報告書の主要なメッセージの発信を強化し、これらが御社の行動に反映されるよう支援することを目的としています。以下のページではSDGsの実現において企業が果たす主要な役割を強調し、御社がどのように取り組めるかを概説し、この極めて重要な社会貢献アジェンダに沿って行動を開始するのに必要な主要手順を推奨しています。

この政治的、経済的な不確実性の多い状況にあっては、SDGsが提唱する包摂的かつ持続可能な経済成長の先導に必要な変革を達成する上で、強力なビジョンに導かれたCEOのリーダーシップが不可欠といえます。

御社はすでにサステナビリティ（持続可能性）戦略に着手していらっしゃることでしょう。SDGsに照らした進捗状況を報告することで、御社はこのグローバルな運動に参加されることになり、各種のセクターやサプライチェーン全体に働きかけることで、私たちは集散的にこのアジェンダを加速化させることができます。

もちろん、企業のみではこのアジェンダのどれも達成することはできません。優れたガバナンス、経済的インセンティブ、適切かつ堅牢な法的及び制度的枠組の条件および官民の連携が不可欠です。

WBCSD カウンシルメンバーであり、またビジネスと持続可能な開発委員会の委員である私たちは、持続可能性の高い企業はより競争力があると考えます。

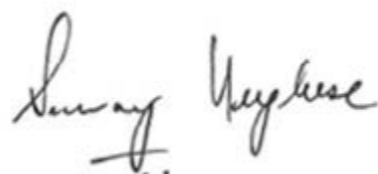
私たちはSDGsのプラットフォームを活用して、セクター、サプライチェーン、政府、国際機関、科学、市民社会全体との対話と提携を通じて大規模な協調的行動を先導して行きます。

私たちは、皆様がビジネスコミュニティ全体におけるこの取り組みに参加し、社員、提携先、およびステークホルダーへ呼びかけることで、2030年

およびその先に向けた行動を私たちと共に拡大していただくことを期待しています。



Paul Polman
Unilever CEO兼 WBCSD 会長



Sunny Verghese
Olam 共同創業者兼CEO



Svein Tore Holsether
Yara International CEO



Knowledge grows



Peter Bakker
WBCSD 事務総長



SDGsはグローバルなニーズを
ビジネスソリューションへと変換する
ための新しい視点を
提供するものです



ビジネスと持続可能な開発委員会

ビジネスと持続可能な開発委員会は民間部門と市民社会からの36人のリーダーからなる集まりです。これらのリーダーはSDGsが達成された場合に企業が受けられるような、経済的な恩恵を提供する広範な調査を監督してきました。

SDGsの達成は可能性を引き出す

2030年までの4つの経済システムを通じたビジネス価値だけでも年間12兆ドル



食品および農業
2.3兆米ドル



都市と都会のモビリティ
3.7兆米ドル



エネルギーおよび原材料
4.3兆米ドル



健康および福祉
1.8兆米ドル

3億8,000万件以上の雇用の創出

出典： [Better Business, Better World](#), Business & Sustainable Development Commission

委員会はビジネスリーダーに対し6つの主な 推奨事項を設けています



御社およびビジネスコミュニティ全体において、SDGsへの支援を正しい成長戦略として構築する



社会の信頼を回復し、グローバル目標全般を達成するために政府、消費者、労働者、市民社会と協力して事業運営のライセンスを確保する



SDGsを企業戦略に組み込む



セクターの同業者と持続可能な市場への変換を推進する



長期的に持続可能な投資を志向する金融システムを推進する



政策立案者と協力し、天然資源と人的資源の真のコストを支払う

委員会の主要報告書「Better Business, Better World (より良きビジネス、より良き世界)」では、SDGsとの適合を図ることについて、説得力のある構図を記載しており、企業のリーダーに様々な推奨事項を提示しています。



<http://businesscommission.org>



SDGs と企業の役割

SDGs は企業の協力なしには実現しません。

17の SDGs とこれを支持する169の期限付き目標は、包摂的かつ相互に関連し合う枠組を成しています。これは、あらゆるステークホルダーおよび国家にとって明らかで普遍的な関連性を持っています。その意欲は、実質的にすべての国を開発途上国へと変えるものです。

企業が単独でSDGsを実現するよう求められているわけではない一方、このアジェンダは企業の効果的な参加なしには実現不可能です。民間部門は資金源として、革新と技術開発の推進者として、また経済成長と雇用の主動力として、極めて重要な役割を担っています。

企業がその中核の責任を意識していることも重要です。いかなる企業も、その基本として、自らの事業活動がこのアジェンダの妨げとならないようにすることが重要です。特に人権関連における負の社会的影響への取り組みは、あらゆる企業の優先事項であるべきです。

目標達成に向けて求められているスピードでグローバルな進歩を推進するためには、各国政府が、このアジェンダが求める破壊的革新に有利になるような規制を設ける必要があります。しかし、この変革を実現するためには、企業あるいは政府の行動だけでは十分ではありません。

私たちは社会の全セクターが協調してはじめて、長期的成長と繁栄の共有という共同目標を実現できるのです。



御社への意味合い

1 行動を起こさないことのリスク

何もしないことは、高価なオプションです

2 機会を捉える

ビジネス戦略をSDGsに適合させることによる恩恵

3 ガバナンスと透明性

より良い情報 = より優れた決定

4 協調の必要性

SDGsの実現は、一社で行えることではありません

ビジネスの観点からは、SDGsの持つ意味合いを4本の主要な柱を通して理解することが重要です

1 行動を起こさないことのリスク

何もしないことは、高価なオプションです

行動を起こさないことのコスト

今日の経済モデルの欠陥は将来の成長見通しを抑制する、環境上および社会上の負担リストを増長させている点です。これらの負担は高まるビジネスコストを意味し、最終的にはビジネスを行う場である世界を実現可能性の低い場所にします。

規制上のリスク

SDGs は、国際、国内、地域の各レベルにおける今後のポリシーの方向性を反映するものです。これらを戦略上織り込んでいくことを怠ることは、長期的な規制上のリスクを意味します。

市場の混乱

将来を見据えている企業は、市場を根本から再形成しそうな、破壊的な新しいビジネスモデルを推し進めています。

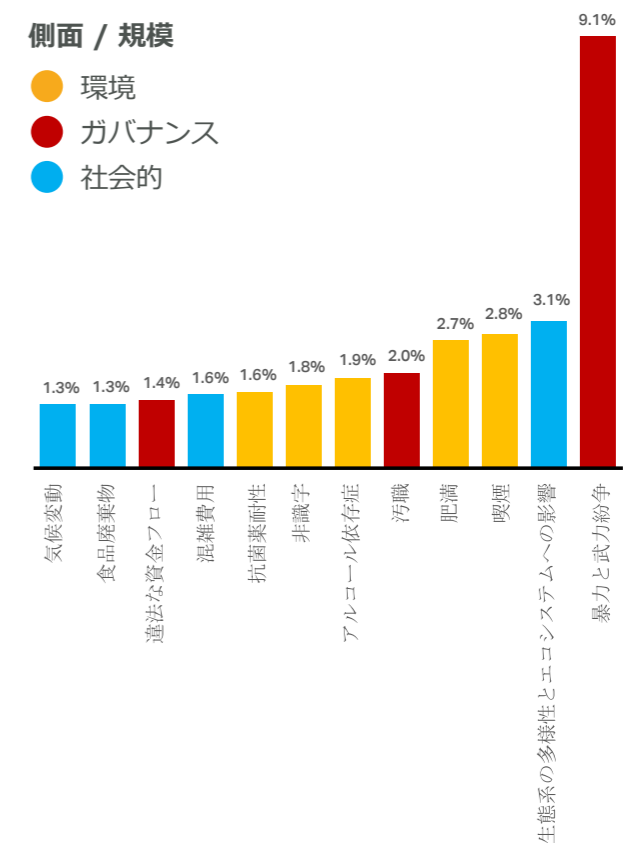
事業運営ライセンスの減少

エデルマン社による企業への信頼に関する最新のグローバル報告書によると、昨年間に80%の国において、CEOへの信頼性が2桁減少したことが明らかになっています。

特定のグローバル負担と関連する、グローバルな経済への直接的インパクトの年間推定値
グローバルGDPのシェア。2014年

側面 / 規模

- 環境
- ガバナンス
- 社会的



出典: Better Business, Better World, Business & Sustainable Development Commission

2

機会を捉える



ビジネス戦略をSDGsに適合させることによる恩恵

新しい成長市場

SDGs関連の技術とソリューションを持続可能かつ包摂的なビジネスモデルを通じて提供できる企業には巨大な市場インセンティブがあります。この経済的恩恵は2030年までに少なくとも年間12兆米ドルの価値を持つとされています。

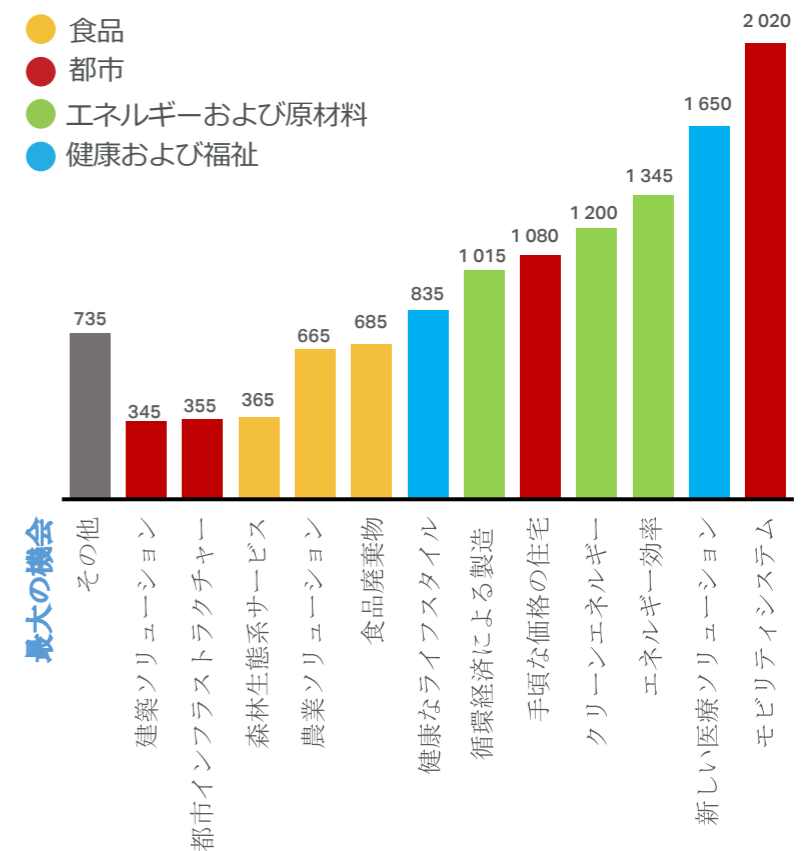
ポリシーロードマップとしてのSDGs

自社の事業をSDGsに適合させ、政府がSDGsを達成する中で事業がどのように貢献できるかを明確に説明できる企業は、強力な事業運営ライセンスを固め、競合他社と差別化できる可能性が大きくなります。

信頼の回復

共通言語を用い、目標達成を分かち合い、基本的なニーズを満たし、人権を保護することを通じて、企業は新しくかつ改善された社会的契約を築くことができるようになります。

2030年における漸増的市場機会の価値
10億米ドル単位：2015年の数値



出典: Better Business, Better World, Business & Sustainable Development Commission

3

ガバナンスと透明性

より良い情報 = より優れた決定

コーポレートガバナンスの意味合い
SDGsをコーポレートガバナンスの言葉に変えるには、まだまだやらなくてはならない仕事が増えています。企業がギャップを埋め合わせるために主流のリスク開示モデル（COSO または ISO といった企業リスク管理フレームワーク）を使用することが極めて重要になります。

既存の財務開示要件を満たす強力なパフォーマンス測定基準を創設することで、企業は自らのリスクを明確かつ意義ある形で開示、協議、比較することができます。これにより、長期的にはより持続可能な企業がより大きな成功を収めるようになります。

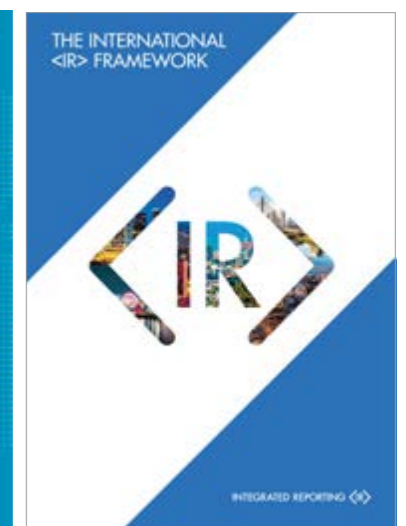
価格設定と外部性の統合

事業を行うことによる社会的および環境上の影響の価値を定め、これらを社内戦略と意思決定へと統合していく能力が、業績と評判に影響を及ぼすようになります。気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）が推奨するようなシナリオ分析は、持続可能性のリスクと機会に関するより良い情報を御社および役員会に提供します。

外部性にこうした形で取り組んでいくことが、社会で進化する企業の役割について、政府およびその他のステークホルダーとの建設的な対話への糧となります。



気候関連財務情報開示タスクフォース



国際統合報告フレームワーク

4

協調の必要性

SDGsの実現は、一社で行えることではありません

セクターアプローチ

SDGsは平常通りの業務（Business as usual）で達成することはできませんし、また少数のパイオニアによる革新でも達成できません。新しい進路がセクターおよび業界全体に求められます。

これは一社で行えることではありません。目標を実現するには業界レベルで最低数の企業間の協力が必要とされます。

体系的なアプローチ

経済システム全体の点検を推し進めるためには、同時にセクター相互間の協力が必要となります。

官民の連携

PPPs（官民パートナーシップ）

は、SDGsの達成に必要な資金源を引き出す革新的なソリューションを推進します。

協調的行動



グローバル・アグリビジネス・アライアンス（Global Agri-Business Alliance）：CEO主導の民間部門の協調的行動。SDGsに取り組むためセクターの集団力を育みます。



低炭素技術パートナーシップイニシアチブ（LCTPi）は、官民の共同イニシアチブであり、低炭素技術の開発を加速させ、その展開規模を拡大し、ビジネスソリューションの導入を可能にします。

行動ポイント

御社の組織をSDGsに適合させ、SDGsが表す価値の実現に向けた進路を定めるために取ることのできる行動は数多くあります。

この政治的、経済的な不確実性の多い状況において、ビジョンをもったCEOの強力なリーダーシップは不可欠です



① 行動を起こさないと
おきかた

② 機会を捉える

③ ガバナンスと
透明性

④ 協調の必要性

個人レベル

最新情報を得る ① ②

SDGs を御社のビジネスにする。持続可能な開発アジェンダに遅れをとらないようにすることで、御社は機会をフルに生かし、破壊的なリスクを未然に防ぐ姿勢が取れます。

広く伝達する ④

同業者ネットワークをこのアジェンダに取り組みせ、ビジネスとして取り組む転換点を生み出します。

会社レベル

外部性を理解し、評価する ③

御社の事業活動がSDGs の観点において、どのように経済、環境、社会への影響に転換されていくかについて、徹底的な理解を育みます。

目標設定 ① ②

SDGs の影響のプラス面を強化し、マイナス面を軽減する方向で進路を設定します。

ビジネスソリューションの策定 ②

戦略レベルでSDGsの観点を採用し、御社をより成功させ、持続可能にさせるビジネスソリューションを生み出す組織力を育成します。

コミュニケーション ③

SDGs パフォーマンスと進歩についての定期的で透明性のあるコミュニケーションを検討します。

セクターレベル

協働 ③ ④

同業者や他のステークホルダーと協力し、御社のセクターに適合したSDGs の枠組を策定します。

ロードマップ ④

御社の業界に向けた集团的ビジョンを設定し、セクターの変革を実現するイニシアチブで協力します。

行動を呼びかける ④

セクターのあらゆる企業に呼びかけ、各社の進捗具合の足並みを揃え、協力、報告を行います。

ポリシーレベル

提唱する ① ② ③ ④

転換点の達成を支える主なポリシーおよび資金調達手段の導入を公に提唱します。

大規模行動の実現者としての WBCSD

喜ばしいことに、SDGs に沿う成長に向けた変革において、企業を支援するリソースが増大しています。

WBCSD は企業による大規模な行動を促進するイニシアチブを追求しています。これらは、200の先進的企業がメンバーとなって導くもので、60を超える世界中の企業組織のグローバルネットワークを含め、強力な機関パートナーシップにより支援されています。

セクターロードマップ

WBCSD は複数の業界にまたがる広範なネットワークの活用手段を設けることにより、SDGs 実現に向けて共通のビジョンを明確に打ち出すセクター固有のロードマップを作成しています。

こうしたロードマップの役割は：

- セクターが SDGs に影響をおよぼす最も実効性のある方法を特定
- セクター固有の目標とKPIsを設定
- 障害への認識を促し、ソリューションを策定
- 資金調達とポリシーにおける実現可能な主体を対象に提唱していく基礎を構築





価値の再定義

真の価値、真のコスト、真の利益を測定、評価、報告するために、企業は金融資本会計を超えて、自然資本および社会的資本を取り込んでいく必要があります。

WBCSD は非金融資本の測定、評価、報告を推進するための革新的な枠組とリソースを開発しています。これにより、企業の意思決定を改善し、外部に対してより効果的で意義ある報告と開示が生み出されます。

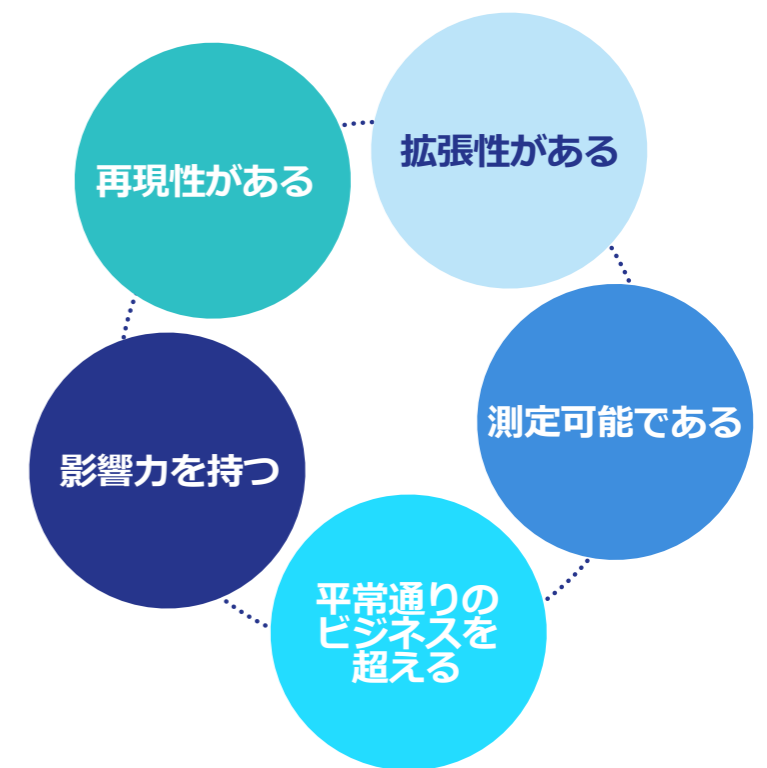
私たちは社員、提携先、ステークホルダーを対象に、私たちと協力することで2030年以降に向けた行動規模を拡大させていくよう呼びかけています



WBCSD ビジネスソリューション

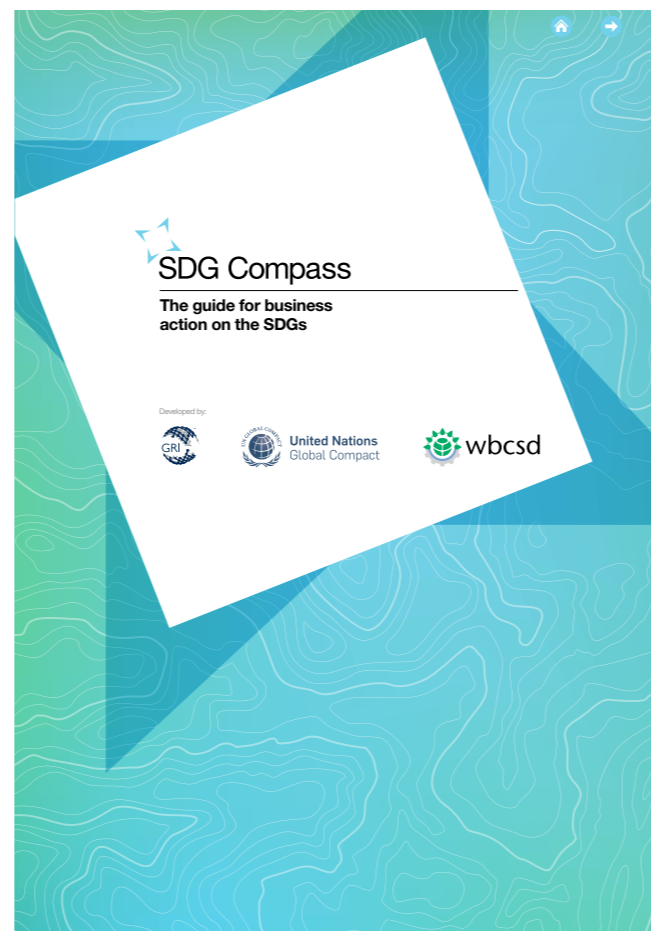
WBCSD では、メンバー企業による推進対象として、40を超える既成のビジネスソリューション一式をご提案します。これらのソリューションは御社の競争力とレジリエンスを向上させ、同時に幅広いSDGsの実現に貢献するものです。

ビジネスソリューションは以下の特性を持ちます：



SDG コンパス

WBCSDはGRI（グローバル・レポーティング・イニシアティブ）および国連グローバル・コンパクトと協力して、企業戦略をSDGsに適合させ、その影響力を評価、管理するための段階的な企業向けガイドを作成しました。これは、常に最新に保たれているビジネス指標やツールにより支援されています。SDG コンパスは12の言語でご利用いただけます。



www.sdgcompass.org/



最新情報を得る

SDG ビジネスハブは、将来を考える企業の声を集めたものです。これは、リソース、ツール、ケーススタディ、知見への容易なアクセスを提供し、このダイナミックなアジェンダにおける御社の進行をサポートします。

www.sdghub.com

SDG Business Hub

Home Tools & Resources Business Action WBCSD & the SDGs News & Insights

SDG Business Hub

The SDG Business Hub looks to consolidate the voice of forward-thinking business and to provide easy access to resources, tools, case studies and insight which supports the navigation of this dynamic agenda.

Tools & Resources
What resources are out there and how can they provide support to business in aligning with the SDGs? Browse our library.

Business Action
See how leading companies are making the SDGs their business and integrating the goals into core functions.

WBCSD & the SDGs
Learn more about WBCSD's approach to the goals and our contribution to achieving them.

Business & Sustainable Development Commission
Find out more about the Commission's ground-breaking work on articulating the economic prize for business in achieving the SDGs

 SDG Business Hub



主なWBCSD の連絡先



Peter Bakker
事務総長
president@wbcscd.org



Peter White
副事務総長
white@wbcscd.org



Maria Mendiluce
Natural Capital (自然資本)
マネージングディレクター
mendiluce@wbcscd.org



Filippo Veglio
Social Capital (社会的資本)
マネージングディレクター
veglio@wbcscd.org

**World Business Council
for Sustainable Development**

Maison de la Paix

Chemin Eugène-Rigot 2B

CP 2075, 1211 Geneva 1

Switzerland